

令和2年度決算にかかる主要な施策の 成果報告書並びに基金運用状況報告書

会 津 若 松 市

目 次

(参考)

1	令和2年度主要な施策の成果報告書	1
	(1) 総括	3
	(2) 市税徴収実績	4
	(3) 一般会計	7
	第2款 総務費	8
	第3款 民生費	15
	第4款 衛生費	21
	第6款 農林水産業費	23
	第7款 商工費	27
	第8款 土木費	34
	第9款 消防費	38
	第10款 教育費	39
	(4) 「新型コロナウイルス感染症対策経費」	45
	(5) 「地方創生」 梓事業	63
	(6) 特別会計	83
	会津若松市国民健康保険特別会計	84
	会津若松市観光施設事業特別会計	86
	会津若松市地方卸売市場事業特別会計	88
	会津若松市扇町土地地区画整理事業特別会計	89
	会津若松市介護保険特別会計	90
	会津若松市三本松地区宅地整備事業特別会計	92
	会津若松市後期高齢者医療特別会計	93
2	令和2年度基金運用状況報告書	95
	(1) 会津若松市板橋好雄奨学資金貸与基金	96

令和2年度 主要な施策の成果報告書

令和2年度決算における主要な施策の成果について、地方自治法第233条第5項の規定により提出する。

令和3年9月2日

会津若松市長

室井照平

総括

令和2年度の一般会計歳入歳出予算額は、当初48,559,000,000円でありました。

その後、10回の補正予算額17,554,090,000円を加え、さらに、令和元年度継続費通次繰越額9,381円、繰越明許費繰越額422,663,000円、事故繰越し繰越額1,107,000円を加えた結果、最終予算額は66,536,869,381円となりました。

これに対して決算額は、歳入64,870,360,825円、歳出62,309,520,767円で、差し引き2,560,840,058円の剰余金が生じたものです。

歳入

予算現額66,536,869,381円に対し、決算額は64,870,360,825円で、予算現額と比較し、1,666,508,556円、2.5%の減収となりました。

その主な内訳は、市税(255,655,812円)、地方交付税(629,097,000円)などの増収と、国庫支出金(△1,517,170,148円)、県支出金(△194,899,185円)、市債(△802,136,000円)などの減収によるものです。

なお、減収分のうち、国庫支出金1,290,758,097円、県支出金6,494,420円、繰入金21,795,000円、市債455,800,000円は、翌年度へ繰り越した事業の財源であり、令和3年度に事業が完了することにより収入されるものです。

歳出

予算現額66,536,869,381円に対し、決算額は62,309,520,767円で、執行率は93.6%(前年度96.2%)となり、継続費通次繰越額35,666,000円、繰越明許費繰越額2,112,316,239円を除いた不用額は2,079,366,375円となりました。

主な不用額は、民生費691,657,553円、商工費252,251,882円、教育費401,221,985円で、効率的な執行に努めたところです。

新型コロナウイルス感染症対策経費

新型コロナウイルス感染症対策経費については、補正予算や予備費等を活用し、最終的な予算現額15,765,362,000円に対し、決算額は14,120,246,090円で、執行率は89.6%となり、繰越明許費として、1,232,634,449円を令和3年度へ繰り越しています。

このうち、地方単独事業分として、2,010,372,000円の予算を措置し、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1,596,977,000円を充て、決算額は1,410,064,562円、令和3年度への繰越額は333,732,352円となりました。

以上、これらの予算執行を通して得られた本年度の行政施策の主な成果の概要は、次のとおりです。

市 税 徴

税 目 \ 区 分	前年度決算額 (A)	予 算 現 額	調 定 額 (B)	収 入 済 額 (C)
	千円	千円	千円	千円
I 普通税	15,286,452	14,920,329	15,821,425	15,221,631
1 現年度分	15,188,800	14,815,029	15,367,327	15,127,484
(1) 市 民 税	6,486,606	6,323,525	6,393,547	6,321,238
(2) 固 定 資 産 税	7,373,573	7,404,536	7,685,100	7,520,734
(3) 軽 自 動 車 税	322,854	339,962	344,320	341,152
(4) 市 た ば こ 税	1,005,767	747,006	944,360	944,360
2 滞納繰越分	97,652	105,300	454,098	94,147
(1) 市 民 税	48,776	48,200	130,741	46,318
(2) 固 定 資 産 税	46,637	55,000	313,602	45,190
(3) 軽 自 動 車 税	2,239	2,100	9,755	2,639
II 目的税	100,989	104,671	59,118	59,025
(1) 入 湯 税	100,989	104,671	59,118	59,025
現年度分	100,846	104,670	54,085	53,992
滞納繰越分	143	1	5,033	5,033
合 計	15,387,441	15,025,000	15,880,543	15,280,656

収 実 績

(C)の 構成比	対前年度比 (C)／(A)	未 収 入 額 (B)－(C)	調定額(B)に対する収入済額(C)の割合(徴収率)				
			2年度	元年度	30年度	29年度	28年度
%	%	千円	%	%	%	%	%
99.6	99.6	599,794	96.2	97.0	97.1	97.1	97.2
99.0	99.6	239,843	98.4	99.0	99.1	99.1	99.1
41.4	97.5	72,309	98.9	99.2	99.2	99.2	99.2
49.2	102.0	164,366	97.9	98.7	98.9	99.0	99.0
2.2	105.7	3,168	99.1	99.0	99.0	99.0	98.9
6.2	93.9	0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0.6	96.4	359,951	20.7	23.0	26.4	25.0	24.9
0.3	95.0	84,423	35.4	38.2	38.5	39.7	36.5
0.3	96.9	268,412	14.4	16.2	21.0	17.9	20.0
0.0	117.9	7,116	27.1	24.8	24.6	28.7	22.3
0.4	58.4	93	99.8	95.2	99.9	99.6	99.8
0.4	58.4	93	99.8	95.2	99.9	99.6	99.8
0.4	53.5	93	99.8	95.2	99.9	99.6	99.8
0.0	3519.6	0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
100.0	99.3	599,887	96.2	97.0	97.1	97.2	97.2

主要な施策の成果（一般会計）

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地域情報化推進事業費（超高速ブロードバンド環境整備事業補助金） (情報統計課)	116,667				116,667

説 明

○ 光回線等による超高速ブロードバンド環境の未整備地域における地域格差、情報格差の解消を図るため、未整備地区における市民との意見交換、民間事業者との連携及び民設民営によるブロードバンド環境整備への支援を行い、どこに住んでいてもICTを活用できる通信環境の整備を進めました。

1. 事業概要

未整備地域における民設民営によるブロードバンド環境整備に対する補助を行いました。

2. 対象地域（未整備地域）

湊町、大戸町（芦ノ牧地区を除く）、河東町（大野原地区、強清水地区）

3. 補助対象事業者

関西ブロードバンド株式会社

4. 主な経過

- ・平成31年 4月25日 公告（公募型プロポーザル方式）
- ・令和元年 5月21日 提案書及びヒアリング審査（審査対象事業者2者）
補助対象事業者選定
- ・令和元年10月 1日 関西ブロードバンド株式会社による工事着手
- ・令和 2年 8月～ 関西ブロードバンド株式会社による光通信サービスの順次開始

5. 事業の成果

地域名	回線契約世帯数※	全体世帯数	加入率
湊町	161	502	32%
大戸町（芦ノ牧地区を除く）	105	382	27%
河東町（大野原地区、強清水地区）	11	38	29%
合 計	277	922	30%

※令和3年3月時点 民間事業者提供データより

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
市民協働推進事業費（行政提案型協働事業委託料） (企画調整課 協働・男女参画室)	1,000				1,000
説 明					
<p>○ 市民協働による地域課題の解決と、より幅広い協働の実践につながる事業を創出することを目的に、「会津若松市市民協働推進指針」の実践の一環として、市民活動団体との協働事業（2事業）に取り組みました。 いずれの事業も打合せを丁寧に積み重ね、相互の信頼関係を構築しつつ、課題認識と目的を共有しながら取組を進め、効果と課題を確認することができました。</p> <p>[事業内容]</p> <p>1. 市民活動中間支援機能強化事業 地域における様々な課題解決や魅力づくりの担い手である市民活動団体等の活動の活性化を図るため、その活動や運営を支援する事業に取り組みました。</p> <p>(1) 課題テーマ 市民活動団体の活動活性化のための「中間支援機能」づくり (2) 実施団体 NPO Links あいづ (担当課：企画調整課 協働・男女参画室) (3) 事業費 500千円 (4) 主な内容 ・相談を寄せた団体に対する伴走支援 ・イベントや助成金などの情報を発信する情報サイトの制作と運用 ・他地域の中間支援団体等との交流や学習の機会の創出 (5) 成 果 ・市民活動団体等を伴走支援することで、新たな事業の立ち上げや他団体との協力体制の構築、財源の確保など、市民活動団体等の活動の活性化につなげることができました。 ・地域における中間支援の有効性と必要性を確認することができたことから、実施団体での継続的な中間支援の取組につなげることができました。</p> <p>2. 「ソーシャルディスタンス」を公園で学ぼう！ コロナ禍においても、公園を憩いや安らぎ、賑わいのある場所とするため、衛生管理や情報発信、利用者を増やすための仕掛けづくりに取り組みました。</p> <p>(1) 課題テーマ 公園の新たな魅力づくりと管理運営方策 (2) 実施団体 NPO法人 Lotus (担当課：まちづくり整備課) (3) 事業費 500千円 (4) 主な内容 ・大町中央公園内の施設や遊具の除菌などの衛生管理 ・ソーシャルディスタンスを確保した遊び方や地区住民へのアンケート結果、イベント情報などを、公園内の掲示板やSNSで情報発信 ・イベントの開催、のぼり・電灯・自動販売機の設置 (5) 成 果 ・施設や遊具の除菌、令和元年度にリノベーションに取り組んだ東屋の保全、ソーシャルディスタンスを確保した遊び方や近隣住民を対象に実施したアンケート結果を情報提供することなどにより、子どもと子育て世代、高齢者、近隣住民など誰もが気軽に立ち寄れる、居心地が良く賑わいのある場所とするとともに、公園の管理運営手法を検討する上での参考事例とすることができました。</p>					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
ICTを活用した中山間地域づくり事業費 (地域づくり課)	3,767				3,767
説 明					
<p>○ 中山間地域のコミュニティづくりを推進するため、地方創生推進交付金を活用し、湊地域をモデル地区に構築した「中山間地域生活支援システム（みなとチャンネル）」及び「地域内交通（みなとバス）」の継続的な運用を行いました。</p> <p>1. 中山間地域生活支援システム運用保守業務</p> <p>(1) 事業概要 中山間地域の活力向上を目指し構築した「中山間地域生活支援システム（みなとチャンネル）」の運用保守を行いました。</p> <p>(2) 事業成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域生活支援システムの利用世帯数 252世帯（前年比：△6世帯、目標値：280世帯、達成率：90%） ※令和3年3月末現在 <p>2. 中山間地域内交通自主運行事業補助金</p> <p>(1) 事業概要 「NPO法人みんなと湊まちづくりネットワーク」が自主事業として運行を行った地域内交通（みなとバス）について、運行に必要な経費に対する補助を行いました。</p> <p>(2) 事業成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行日数 172日（前年比：△22日） 週4日運行、予約に応じ自宅から湊地区内の目的地まで運行 ・延べ利用者数 1,078人（前年比：△536人）、1日あたり6.3人（前年比：△2.0人） 新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少しました。 					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
庁舎整備事業費 (企画調整課 庁舎整備室)	102,821			101,861	960
説 明					
<p>○ 「庁舎整備基本計画」及び「庁舎整備基本計画の精査と整備に向けた方向性の整理」に基づき、庁舎整備に向けた条件整理を行い、また、市民の皆様や市議会からの意見・提言を踏まえ、基本設計をとりまとめ、実施設計に着手しました。</p> <p>さらに、「庁舎整備ニュース」等により事業の進捗状況の広報を行ったほか、設計段階から施工予定者が関与する方式（ECI方式）による事業の推進に向け、庁舎整備実施設計技術協力及び調査業務委託（施工予定者選定）に係る要項等を作成するなど、業務の発注に向けた準備を行いました。</p> <p>[主な事業内容]</p> <p>1. 庁舎整備設計業務</p> <p>庁舎整備基本計画等を踏まえた庁舎整備の設計図書を作成するため、令和2年度から令和4年度までの設計業務（基本設計及び実施設計）を委託しました。</p> <p>(1) 令和2年度の主な業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本設計図書の作成 ・ 実施設計業務 <p>(2) 基本設計の概要</p> <p>①城下町会津若松の「人」「歴史」「情報」「安心」を4つの広場でつなぐ『みんなの庁舎』、②本庁舎旧館の歴史的価値を保存・再生、③市の「これから」を見据えた庁舎をコンセプトに基本設計をとりまとめました。</p> <p>(3) 委託先 梓・白井設計共同企業体</p> <p>(4) 委託先選定までの主な経過</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年4月17日 公告（公募型プロポーザル方式） ・ 令和2年5月20日 1次審査（資格・実績等審査）参加5企業全てが1次審査を通過 ・ 令和2年6月23日 地元設計事務所とJVを組成した5JVによるプレゼンテーション ・ 令和2年7月 6日 2次審査により受託候補及び次点候補JVを決定 ・ 令和2年7月10日 受託候補JVと業務委託契約締結 <p>2. 庁舎整備コンストラクションマネジメント業務</p> <p>計画、設計及び施工の各段階において、スケジュール・品質・コストのトータルのマネジメントを行いながら、庁舎整備事業を推進するため、コンストラクションマネジメントの業務を委託しました。（委託期間：令和元年度から令和7年度まで）</p> <p>(1) 令和2年度の主な業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設計者選定支援（選定資料の作成など） ・ 設計技術支援（基本設計の内容確認と助言、保存建築物に関する技術支援など） ・ 実施設計技術協力及び調査業務委託（施工予定者選定）支援（募集要項等の作成など） <p>(2) 委託先 株式会社 三菱地所設計 東北支店</p> <p>3. 本庁舎等アスベスト定性分析調査業務</p> <p>庁舎整備事業において、本庁舎新館等の既存建築物の解体工事を行うことから、非飛散性アスベストの含有の恐れがある29部材で含有調査を実施しました。その結果、13部材で含有を確認しました。</p> <p>(参考) 平成17年度の調査において、本庁舎には飛散性のアスベスト含有建材は無いことが確認されています。</p>					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
北会津地域活性化事業費（市民協働地域づくり委員会活動事業負担金） （北会津支所まちづくり推進課）	1,000				1,000
説 明					
<p>○ 北会津地域における市民参加・協働によるまちづくりを支援するために組織した「地域づくり委員会」へ負担金を交付し、住民自らが行う身近な問題の解決に向けた取組への支援を行い、地域の活性化を図りました。</p> <p>さらに令和2年度は、地域課題解決に向けた取組を強化するため、地域づくりビジョン策定ワークショップを開催し、「小さくても、できることから行動しよう！」をテーマに「北会津地域づくりビジョン」を策定しました。</p> <p>・地域づくり委員会会員数 47名（令和3年3月31日現在）</p> <p>[主な事業内容]</p> <p>1. 組織の構成に係る支援</p> <p>「役員会」（10回）開催 「委員会」（7回）開催 うち地域づくりビジョン策定WS 5回開催 「北会津公共交通会議」（5回）開催 意見交換会の開催（北会津地域連携会議との合同） 地域づくりフェス巡回展の開催（リオンドールカルチャーセンター他4地区でパネル展示） まちづくり推進ニュースへの記事掲載</p> <p>2. 実践事業の取組に係る支援</p> <p>委員会発意による実践活動の実施（3件） 「みどり（花）香るまちづくり推進事業」 「北会津地域フォトコンテスト&児童作品展」 「地域づくりフェス巡回展」</p> <p>3. 地域内交通「北会津ふれあい号」の運営・利用促進</p> <p>ふれあい号の発着時刻表プレートを作成し、各集落の区長に設置依頼 延べ48箇所に設置 「スタンプサービス」を実施 10回の乗車で1回無料 川南小学校児童2名の冬期間の通学に利用 学校や教育関連施設、小規模集落等を新たな乗降場所とし、時刻プレートを設置</p>					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
河東地域活性化事業費（市民協働地域づくり委員会活動事業負担金） （河東支所まちづくり推進課）	1,000				1,000
説 明					
<p>○ 河東地域における市民参加・協働によるまちづくりを支援するために組織した「地域づくり委員会」へ負担金を交付し、住民自らが行う身近な問題の解決に向けた取組への支援を行い、地域の活性化を図りました。</p> <p>・ 地域づくり委員会会員数 120人（令和3年3月31日現在）</p> <p>[主な事業内容]</p> <p>1. 組織の構成に係る支援 総会・臨時総会の開催（2回） 運営委員会の開催（8回） 各部会の開催（地域環境（3回）・生活福祉（2回）・防犯防災（2回）・交通環境（7回）） 地域づくりフェス巡回展の開催（北会津地域づくり委員会等との合同） 地域づくり委員会ニュースの発行（5回）</p> <p>2. 実践事業の取組に係る支援 地域環境部会（7件） 「広田駅前環境美化運動」、「地域づくり委員会ニュース発行」 「地域住民への活動報告」、「地元商店街等の利用促進に向けた取り組み」 「公共施設を活用した地域イベント等の開催」 「河東地域ビジョンの策定に向けた取り組み」 「河東地域づくり委員会シンボルマークの考案について」 生活福祉部会（3件） 「河東ふれあいネットワークとの共催事業（食の講座）の開催」 「健康に関する情報提供」、「河東地域ビジョンの策定に向けた取り組み」 防犯防災部会（4件） 「市通学路交通安全プログラムへの参加」 「市情報メール配信サービスあいべあへの登録啓発及び周知」 「河東地域における自然災害の調査・研究」 「河東地域ビジョンの策定に向けた取り組み」 交通環境部会（5件） 「河東地域内交通みなづる号の運営に関する支援」 「河東地域内交通みなづる号乗車会の実施」 「河東地区の公共交通に関するアンケート調査の実施」 「交通環境の変化への対応」 「河東地域ビジョンの策定に向けた取り組み」</p> <p>3. 「河東地域づくりビジョン」の策定に係る支援 河東地域づくりビジョン策定委員会の開催（7回） ※令和3年3月18日（木）臨時総会にて「河東地域づくりビジョン」策定</p> <p>4. 地域づくり活動支援事業（住民提案型公募事業）の実施（2件） 「防犯活動等の円滑化促進事業」 「かわひがし皆鶴姫伝説PR用（皆鶴姫）衣装リニューアル事業」</p>					

2 款 総務費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳											
		国県支出金	地方債	その他	一般財源								
空家対策に関する経費 (危機管理課)	7,030				7,030								
説 明													
<p>○ 「適切に管理されていない空家等」の進行管理を行うとともに、空家等の未然発生防止の取組などの新たな課題に対応するため、第2期空家等対策計画（令和3年度～令和7年度）を策定しました。</p> <p>○ 町内会や不動産業界団体、司法書士会等の関係団体との連携により、市内における空家の実態把握や所有者等に対する適正管理と利活用促進に係る助言・指導を行いました。</p> <p>○ 空家を活用して、地域の活性化に資する事業や移住をしようとする方を対象に、空家の改修工事の費用の一部について、補助金を交付しました。</p>													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内 容</th> <th>申請件数</th> <th>交付件数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空家等改修支援事業補助金</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>660千円</td> </tr> </tbody> </table>						内 容	申請件数	交付件数	補助金額	空家等改修支援事業補助金	2	2	660千円
内 容	申請件数	交付件数	補助金額										
空家等改修支援事業補助金	2	2	660千円										
住居表示整備費 (市民課)	23,701				23,701								
説 明													
<p>[事業概要]</p> <p>1. 第25次住居表示整備事業 門田町の一部について、町の境界や住所の表示を整備し、新町名とすることにより、郵便物その他の集配業務の正確性や迅速性を確保するなど、市民生活の利便性向上を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施日 令和2年10月19日 ・ 実施区域 会津若松市門田町大字飯寺字村西の一部 会津若松市門田町大字飯寺字村東の一部 ・ 新町名 飯寺北一丁目・飯寺北二丁目・飯寺北三丁目 ・ 実施面積 約0.4km² ・ 実施区域の世帯数 848世帯 ・ 実施区域の人口 2,115人 ・ 実施区域の土地の筆数 2,146筆 <p>2. 住居表示街区表示板設置事業 住居表示実施区域内の街区境に設置している街区表示板について、年数経過により破損したものの交換等を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 慶山一丁目、慶山二丁目、和田一丁目、和田二丁目、飯盛一丁目、飯盛二丁目 計 100箇所 													

3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
障がい者総合支援給付費 (障がい者支援課・こども家庭課)	2,035,601	1,524,215			511,386

説 明

○ 障がいの種類、程度にかかわらず、地域で自立した生活が送れるように、様々な福祉サービスを提供しました。

事業名	内 容	件 数	金 額
障がい福祉サービス費等	居宅介護、生活介護、施設入所支援等の介護給付費や自立訓練、就労移行支援等の訓練等給付費の支給	19,558件	1,755,611千円
計画相談支援給付費等	障がい福祉サービスの利用調整や利用計画の作成費の支給	4,039件	64,218千円
療養介護医療費	長期入院による医療的ケア及び常時介護のための療養介護医療費の支給	130件	9,504千円
高額障がい福祉サービス等給付費等	複数の福祉サービスを併用し、一月の自己負担合計額が基準額を超えた際や、介護保険に移行した高齢障がい者の負担軽減のための給付費の支給	157件	829千円
補装具費	失われた身体機能を補完又は代替するための補装具費の支給	208件	18,802千円
自立支援医療費 (育成医療)	身体障がい児又は疾病により障がいが残ると認められる児童の障がいの軽減除去を図る医療費(育成医療)の支給	11件	360千円
自立支援医療費 (更生医療)	身体障がい者の障がいの軽減除去を図る医療費(更生医療)の支給	166件	128,100千円
合 計		24,269件	1,977,424千円

3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地域生活支援事業費 (障がい者支援課・こども家庭課)	115,256	50,947		1,522	62,787

説 明

- 障がい者や障がい児が、その有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、様々な事業を実施し、障がい者等の福祉の増進に努めました。

事業名	内 容	件 数	事業費
相談支援事業	障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供、助言、福祉サービスの利用等を支援	12,034件	33,087千円
成年後見制度利用支援事業	障がい者等の権利擁護のため、成年後見制度の利用を支援	16件	2,217千円
理解促進研修・啓発事業	障がい理解を深めるため、啓発紙を作成・配布	1件	313千円
意思疎通支援事業	手話通訳者又は要約筆記者等を派遣し、聴覚障がい者等のコミュニケーションを支援	235回	1,106千円
日常生活用具費助成事業	障がい者等の日常生活の便宜を図るため、自立支援用具等の購入に要する費用の一部を助成	2,632件	26,593千円
ガイドヘルパー派遣事業	障がい者等の日常生活、社会参加等のための外出時における移動を支援	3,364時間	8,396千円
地域活動支援センター事業	障がい者等に対し、通所による創作活動や生産活動の場を提供	3,702回	8,850千円
訪問入浴サービス事業	入浴が困難な在宅の障がい者等に対し、家庭訪問により居宅での入浴を支援	166回	2,090千円
タイムケア事業	障がい者等に日中活動の場を提供し、障がい者等の家族の就労、休息の確保を支援	4,662回	15,125千円
余暇活動支援事業	障がい者等が集う拠点を設け、イベント等を通じて社会活動参加を促進	2,559人 (のべ参加者数)	4,700千円
ワークシェアリング事業	就労を目指す障がい者に、市役所の一部の業務について作業をしてもらい、社会参加及び就労意欲の向上を図り、就労に向けた訓練を実施	124人 (のべ参加者数)	335千円
地域生活支援拠点等の整備	福祉施設からの地域生活移行や親元からの自立、親亡き後の生活を見据えた支援を行うための拠点等を整備	3箇所	5,135千円
合 計			107,947千円

3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地域医療介護総合確保基金事業補助金 (高齢福祉課)	41,151	41,151			
説 明					
○ 地域包括ケアシステムの構築に資する地域密着型サービス事業所を整備する事業者に対し、施設整備及び施設開設準備にかかる経費について、補助金を交付しました。					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 交付先：医療法人社団 平成会 ・ 施設名：グループホームアルコート南（館馬町） ・ 施設の種類：認知症高齢者グループホーム 					
[補助の内訳]					
内容		件数	金額		
認知症高齢者グループホーム整備助成		1件	33,600千円		
認知症高齢者グループホーム準備経費支援		1件	7,551千円		
家庭児童相談室運営費・児童虐待防止対策事業費（子ども家庭総合支援拠点事業） (こども家庭課)	10,645	3,872		27	6,746
説 明					
○ 児童福祉法第10条の2及び「市区町村子ども家庭総合支援拠点」設置運営要綱（厚生労働省雇用均等・児童家庭局通知）に基づき、子ども（満18歳に満たない者）及びその家庭並びに妊産婦の福祉の向上のため、子ども家庭総合支援拠点を設置し、実情の把握、情報の提供、相談、調査、指導、関係機関との連絡調整、その他の必要な支援を行いました。					
1. 事業内容					
(1) 子ども家庭支援全般に係る業務					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 実情の把握 ・ 情報の提供 ・ 相談等への対応 ・ 総合調整 					
(2) 要支援児童及び要保護児童等への支援業務					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 危機判断とその対応 ・ 調査 ・ アセスメント ・ 支援計画の作成等 ・ 支援及び指導等 ・ 都道府県（児童相談所）による指導措置の委託を受けて市町村が行う指導 					
(3) 関係機関との連絡調整					
(4) その他の必要な支援					
2. 実施体制					
(1) 子ども家庭支援員（総合支援拠点の設置要件：常時2名配置）					
(2) 虐待対応専門員（総合支援拠点の設置要件：常時2名配置）					
3. 総合支援拠点の活動実績					
(1) 家庭相談員による相談実績 582件					
(2) 個別ケース検討会議の開催実績 93回					
(3) 要保護児童対策地域協議会による管理対象世帯数及び児童数 62世帯 120名					
(4) 虐待通告受理件数 35世帯 91名					

3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
子ども・子育て支援事業費（認定こども園施設整備交付金等） (こども保育課)	74,080	55,224			18,856

説 明

- 国の子育て安心プランの実施方針に基づき、幼保連携型認定こども園への移行や保育定員の拡大等を図る特定教育・保育施設に対し、施設整備に係る交付金等を交付し、増加する保育ニーズへの対応を図るとともに、良好な保育環境の整備に努めました。

[交付金対象施設]

1. 南町こども園

事業年度	交付金名称	交付金額
単年度事業 (令和元年度からの繰越)	安心こども基金特別対策事業補助金	21,491千円

※保育所から幼保連携型認定こども園への移行のための施設整備

施設種別	整備前	整備後	増減
	認可保育所	幼保連携型認定こども園	
1号定員	0名	10名	10名
2号定員	48名	45名	△3名
3号定員	42名	45名	3名
合計	90名	100名	10名

※1号定員：教育枠。2号定員及び3号定員：保育枠。

2. 菅原若葉こども園（幼保連携型認定こども園）

事業年度	交付金名称	交付金額	
2ヶ年事業 (令和2年度～3年度)	1年目分	保育所等整備交付金	26,263千円
		認定こども園施設整備交付金	26,326千円
		計	52,589千円

※施設種別の変更なし

施設種別	整備前	整備後	増減
1号定員	56名	34名	△22名
2号定員	16名	48名	32名
3号定員	36名	36名	0名
合計	108名	118名	10名

※1号定員：教育枠。2号定員及び3号定員：保育枠。

※2号定員の拡大

3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源
子ども・子育て支援事業費（保育士宿舎借り上げ支援事業補助金） (こども保育課)	2,848	1,874			974

説 明

○ 保育施設等が、保育士用の宿舎を借り上げる費用の一部を補助することにより、保育士の働きやすい環境の整備や、就業継続及び離職防止に努めました。
また、国の補助基準額が令和3年1月に改正されたことを踏まえ、令和2年度に限り、令和元年度の国庫補助基準額の水準を維持し、保育施設等の人材確保を支援しました。

- 対象となる保育施設等
認可保育所、認定こども園、地域型保育事業所（公立施設を除く）
- 対象となる保育士
保育施設等に採用された日から5年以内の常勤の保育士
- 補助基準額（1人あたり月額）
・採用1年以内の保育士

国庫補助基準額（44,000円）			令和元年度と令和2年度の 国庫補助基準額の差分
国1/2 (22,000円)	県1/4 (11,000円)	市1/4 (11,000円)	市独自補助 (38,000円)

※採用1年以内の保育士には、県が補助基準額の1/4を負担

※令和元年度の国庫補助基準額 82,000円

- ・採用2年目以降の保育士

国庫補助基準額の3/4（33,000円）		令和元年度と令和2年度の 国庫補助基準額の3/4の差分
国1/2 (22,000円)	市1/4 (11,000円)	市独自補助 (28,500円)

- 補助金交付額実績

種別	補助施設数	採用1年以内		採用2年目以降		合計額
		人数	補助額	人数	補助額	
認定こども園	4施設	3	1,644,600	4	1,203,000	2,847,600

3 款 民生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳															
		国県支出金	地方債	その他	一般財源												
児童健全育成事業費 (こども保育課)	574,497	317,373		68,008	189,116												
説 明																	
<p>○ 昼間保護者のいない家庭の小学生に適切な遊びや生活の場を確保し、児童の健全な育成と保護者の就労支援を図りました。 また、こどもクラブで勤務する放課後児童支援員等を対象とした研修会を開催し、育成支援の質の向上を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設数 23箇所 (50クラス) ・利用児童数 1,835名 (令和2年5月1日) ・研修実施回数 2回 (延べ参加人数：60人) 																	
セーフティネット事業費 (被保護者健康管理支援事業) (地域福祉課)	3,484	3,270			214												
説 明																	
<p>○ 会計年度任用職員として、健康管理支援員 (保健師) を配置し、40歳から74歳までの生活保護受給者 (被保護者) 974人に健康診査・がん検診の受診勧奨通知を送付することで、生活習慣病の早期発見及び重症化予防に努めました。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">事業の効果</th> <th style="text-align: center;">効果人数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①健康診査を受診し、生活習慣病の治療を開始した</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>②がん検診を受診し、早期発見・早期治療につながった</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>③糖尿病治療中の被保護者に保健指導を実施</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td>④頻回受診者の受診回数減</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>⑤治療中断者、医療機関未受診者の受診勧奨</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> </tbody> </table>						事業の効果	効果人数 (人)	①健康診査を受診し、生活習慣病の治療を開始した	2	②がん検診を受診し、早期発見・早期治療につながった	2	③糖尿病治療中の被保護者に保健指導を実施	6	④頻回受診者の受診回数減	1	⑤治療中断者、医療機関未受診者の受診勧奨	3
事業の効果	効果人数 (人)																
①健康診査を受診し、生活習慣病の治療を開始した	2																
②がん検診を受診し、早期発見・早期治療につながった	2																
③糖尿病治療中の被保護者に保健指導を実施	6																
④頻回受診者の受診回数減	1																
⑤治療中断者、医療機関未受診者の受診勧奨	3																

4 款 衛生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳									
		国県支出金	地方債	その他	一般財源						
飲料水対策事業費 (健康増進課)	17,717			43	17,674						
説 明											
[事業概要]											
<p>1. 大野原地区給水業務委託 1,411千円 大野原地区の給水不安地区において、給水作業を実施することにより、安全で安心な飲料水を供給しました。</p> <p>2. 給水施設等整備費補助金（大戸町舟子地区）16,306千円 水道未普及地区の給水不安地区において、安定した給水と住民の衛生的生活を確保するため、会津若松市給水施設等整備費補助金の交付等に関する要綱に基づき、地区が行う給水施設等の整備に対し、補助金を交付しました。</p>											
予防接種事業費（乳幼児ロタウイルス予防接種に要する経費） (健康増進課)	11,070				11,070						
説 明											
○ 予防接種法施行令の改正により、令和2年10月1日からロタウイルスワクチンが定期接種となったため、接種を開始しました。											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">対象者</th> <th style="width: 20%;">延べ件数</th> <th style="width: 30%;">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年8月1日以後に生まれた、出生6週0日後から24週（または32週）までの間にある者</td> <td style="text-align: center;">684件</td> <td style="text-align: right;">11,069,250円</td> </tr> </tbody> </table>						対象者	延べ件数	金額	令和2年8月1日以後に生まれた、出生6週0日後から24週（または32週）までの間にある者	684件	11,069,250円
対象者	延べ件数	金額									
令和2年8月1日以後に生まれた、出生6週0日後から24週（または32週）までの間にある者	684件	11,069,250円									

4 款 衛生費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳									
		国県支出金	地方債	その他	一般財源						
環境都市推進事業費 (環境生活課)	2,040			382	1,658						
説 明											
<p>○ 第2期環境基本計画の目標達成のため、再生可能エネルギーや省エネルギーの推進による地球温暖化対策や地域版環境マネジメントシステム、環境大賞等の啓発事業を行いました。</p> <p>○ 住宅用太陽光発電システムと蓄電池等の併設に対し補助金を交付し、再生可能エネルギー設備の導入と効率的な電力利用を促進するとともに、環境保全の意識啓発や災害時の電源確保に努めました。</p>											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">事業名</th> <th style="width: 20%;">件数</th> <th style="width: 30%;">金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住宅用太陽光発電システム等設置補助金</td> <td>10件</td> <td>800千円</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	件数	金額	住宅用太陽光発電システム等設置補助金	10件	800千円
事業名	件数	金額									
住宅用太陽光発電システム等設置補助金	10件	800千円									
緊急減量化対策事業費 (廃棄物対策課)	3,958				3,958						
説 明											
<p>○ 家庭から排出される燃やせるごみの削減のために、雑がみの分別徹底を目指して、「雑がみ専用保管袋」と啓発チラシを作成し、各家庭へ配布しました。</p> <p>○ 事業所から排出されるごみの削減に向けて、会津若松地方広域市町村圏整備組合環境センターと連携して、「事業系廃棄物の分類早見表」を作成し、市内事業所へ配布しました。</p>											

6 款 農林水産業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳															
		国県支出金	地方債	その他	一般財源												
「会津の食」ブランド化事業費 (農政課)	12,096	3,000			9,096												
説 明																	
○ あいづ食の陣実行委員会負担金																	
<p>あいづ食の陣実行委員会への支援を通して、市内飲食店や宿泊施設、菓子販売業者等と連携しながら旬の地元農畜産物をメインとした飲食メニューの提供・販売を行うことにより、会津の食の魅力を外部へ発信するとともに、地元農畜産物の利用拡大とブランド化を図りました。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮したPR活動として、メッセージ動画の作成を行いました。</p>																	
1. シーズンイベント																	
<p>1年間を春（4月～6月）、夏（7月～9月）、秋（10月～12月）、冬（1月～3月）の4シーズンに分け、各シーズンのテーマ食材を利用した飲食メニューやお土産等の情報を提供するとともに、シーズン毎にパンフレットを作成し、参加店舗、提供メニューのPRや各シーズンの会津の魅力を紹介し、広く情報発信を実施しました。</p>																	
<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ食材：春…アスパラガス、夏…トマト、秋…米、酒、冬…会津地鶏 ・参加店舗の実績 																	
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="padding-left: 20px;">* 春・アスパラ</td> <td>飲食店：49店、宿泊施設：6施設、販売店：14店</td> <td style="text-align: right;">計69店舗</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">* 夏・トマト</td> <td>飲食店：44店、宿泊施設：5施設、販売店：14店</td> <td style="text-align: right;">計63店舗</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">* 秋・米、酒</td> <td>飲食店：47店、宿泊施設：6施設、販売店：21店</td> <td style="text-align: right;">計74店舗</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">* 冬・会津地鶏</td> <td>飲食店：46店、宿泊施設：4施設、販売店：5店</td> <td style="text-align: right;">計55店舗</td> </tr> </tbody> </table>						* 春・アスパラ	飲食店：49店、宿泊施設：6施設、販売店：14店	計69店舗	* 夏・トマト	飲食店：44店、宿泊施設：5施設、販売店：14店	計63店舗	* 秋・米、酒	飲食店：47店、宿泊施設：6施設、販売店：21店	計74店舗	* 冬・会津地鶏	飲食店：46店、宿泊施設：4施設、販売店：5店	計55店舗
* 春・アスパラ	飲食店：49店、宿泊施設：6施設、販売店：14店	計69店舗															
* 夏・トマト	飲食店：44店、宿泊施設：5施設、販売店：14店	計63店舗															
* 秋・米、酒	飲食店：47店、宿泊施設：6施設、販売店：21店	計74店舗															
* 冬・会津地鶏	飲食店：46店、宿泊施設：4施設、販売店：5店	計55店舗															
2. 広報PR活動																	
<p>テーマ食材や料理人のこだわりを紹介するメッセージ動画の作成や、感染症対策を実施しながら行った農業体験等によるPR活動を実施しました。また、テーマ食材別パンフレットの作成（4回）、市ホームページ、公式ホームページ、フェイスブック、インスタグラム、市政だより、地方テレビ局の活用、地元新聞社の広告掲載等により広報活動を実施しました。</p>																	

6 款 農林水産業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
市産米価格維持向上推進事業費 (農政課)	7,014				7,014
説 明					
<p>○ 会津産コシヒカリの中でも栽培方法や食味値などによって厳選した米を「AiZ' S-RiCE」としてブランド化し、米集出荷業者が共同でPR・販売することで、本市産米価格の維持・向上を図りました。新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されるなか、産地情報の発信や有名料理人による「AiZ' S-RiCE」の評価を販促に活用し、既存取扱店とのつながりを深めたことで、前年度に比べて約2倍の量を流通させることができました。</p> <p>また、将来的に高品質で安定的な生産に結びつけていくため、福島大学と酒粕堆肥の効能について共同研究を開始しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会津エリアでのプロモーション <ul style="list-style-type: none"> ・「AiZ' S-RiCE」お披露目会兼試食会の実施（田季野） ・地元飲食店フェアの実施 2. 首都圏等でのプロモーション <ul style="list-style-type: none"> ・「AiZ' S-RiCE」通信による産地情報の発信（3回） 3. オンラインストアへの出店（Yahooショッピング） 4. 公式HPによるPR 5. 福島大学食農学類と酒粕堆肥の効用についての共同研究の開始 6. 外食産業に対するブランド力向上事業 <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏の宣伝効果の高い飲食店で「AiZ' S-RiCE」を使用したメニューの提供を実施（モスダイニング あえん 3店舗（新宿伊勢丹、目白、自由が丘）） 7. 有名料理人・料理研究家へのアンケート実施 <ul style="list-style-type: none"> ・赤坂四川飯店、銀座ろくさん亭等、有名料理人15名から「AiZ' S-RiCE」の評価を聴取（味の分析・魅力度で高評価を受け、現在、HPや販促資材（パンフレット）で活用中） 8. 販促ツールの作成 9. 有名情報誌（サライ、今日の料理、オレンジページ）への記事掲載 					

6 款 農林水産業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
林業専用道整備事業費 (農林課)	62,750	43,834			18,916

説明

- 間伐作業を始めとする多くの森林施業の用に供することを目的として、林業専用道の整備を行い、森林資源の利用拡大と林業生産基盤の活性化に寄与しました。
また、工事完了後には当該道路を利用して間伐作業が実施されました。

1. 工事請負費

区分	路線名	工種	事業量	事業費
林業専用道	舟子峠線	開設工事	(1工区) L=121.0m W=3.6m	20,417千円
			(2工区) L=140.0m W=3.6m	20,296千円
合計			2件	40,713千円

うち前年度からの繰越 20,417千円

2. 委託料

区分	路線名	工種	事業量	事業費
林業専用道	舟子峠線	測量・設計	測量設計 L=2.3km 用地測量 A=0.64ha	11,581千円
		測量・調査	用地測量・立木調査 A=2.92ha	9,148千円
合計			2件	20,729千円

うち前年度からの繰越 11,581千円

3. 補償補填及び賠償金

区分	路線名	工種	事業量	事業費
林業専用道	舟子峠線	補償費	立木損失補償 5件	701千円
			立木損失補償 3件	607千円
合計			8件	1,308千円

うち前年度からの繰越 701千円

6 款 農林水産業費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
鳥獣被害防止総合支援モデル事業費 (農林課)	2,286				2,286
説 明					
[事業概要]					
<p>1. 集落環境診断</p> <p>事業継続地区である湊町の3地区（赤井、東田面、原）に加えて、新規事業対象地区である大戸町の2地区（大豆田、芦ノ牧）において、専門家による集落環境診断を実施することで、住民の鳥獣被害対策に関する基礎知識の定着と、捕獲以外の被害対策の有効性・必要性についての理解促進を図りました。</p> <p>2. 緩衝帯の整備</p> <p>集落環境診断の結果に基づき、住民が主体となり「多面的機能支払交付金」等を活用し、集落周辺の環境を整備することで、野生鳥獣が侵入しにくい環境づくりを推進しました。</p> <p>3. 広域での電気柵の設置</p> <p>専門業者の指導のもと、住民が主体となり侵入防止柵を設置することで、広域での被害対策を進めるとともに、被害防除の重要性について意識の醸成を図りました。</p> <p>4. 電気柵購入に係る経費の補助</p> <p>事業対象地区における、侵入防止柵（電気柵）導入に係る経費について補助することで、地区の負担を軽減しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル事業対象地区の補助率：購入経費の80%（上限50万円） <p>5. 実績報告会の開催</p> <p>実績報告会を湊町、大戸町それぞれで開催し、1年間の振り返りをするとともに、各地区における次年度以降の事業実施方針について検討しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実績（各地区からの報告を含む） <ul style="list-style-type: none"> 【赤井】 電気柵設置延長：約0.3km 電気柵設置箇所（赤井地区本村）への野生鳥獣の侵入は減少しており、事業効果は高いと感じています。 【東田面】 電気柵設置延長：約2.2km ※欠席であったため、意見等なし 【原】 電気柵設置延長：約2.5km 前年度においては、電気柵未設置部からの鳥獣の侵入が確認されていたが、今年度の延長によって、鳥獣の侵入による被害や目撃がなく、防除効果は絶大です。 【大豆田】 電気柵設置延長：約1.5km 電気柵設置後の被害は概ね防げていたが、未設置部からの侵入が確認されたことから、今後も対策を継続していきます。 【芦ノ牧】 電気柵設置延長：約1.5km 電気柵設置後に一度だけクマの侵入があったものの、柵補修後は鳥獣の侵入がなく、被害も発生しませんでした。 					

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地場産業振興事業費（会津清酒消費拡大推進協議会負担金） （商工課）	1,700				1,700
説 明					
○ 会津清酒の消費拡大を図るため、会津清酒消費拡大推進協議会へ負担金を交付し、地域住民の認知度向上に向けた情報発信や講習会等を実施しました。					
1. 「会津 日本一おいしいお酒が飲める郷」事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「会津清酒の普及促進に関する条例」などの啓発事業 HPやSNSによる情報発信 ・ 地域イベントでの会津清酒のPR事業 芦ノ牧温泉祭において会津清酒を提供し、PRを実施しました。 					
2. 会津清酒おもてなし講座事業 <p>観光関係者などを対象に、会津清酒の歴史や酒造り、きき酒による味の違いを学ぶ講習会を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 回 数：2回 ・ 開 催 日：令和2年10月27日、31日 ・ 参加者数：32名 					
3. 日本酒カクテルの普及促進事業 <p>10月1日の日本酒の日に合わせて、各店舗のバーテンダーが考案したオリジナルカクテルをお勧めメニューとして販売し、日本酒の新たな飲み方を提案しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実 施 日：令和2年10月1日 ・ 参加店舗：市内のバー7店舗 					

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
地場産業振興事業費（会津漆器販路拡大事業 実行委員会負担金） （商工課）	2,659				2,659
説 明					
<p>○ 消費者を対象とした国内最大級の展示会であるテーブルウェア・フェスティバル（オンライン開催）への出展を支援するため、会津漆器販路拡大事業実行委員会へ負担金を交付し、新しくデザインされた会津塗の魅力づくりと発信により、会津塗の振興を図りました。</p>					
<p>1. 勉強会（3回）</p> <p>テーブルウェア・フェスティバルのシニアプロデューサーを講師に招へいし、新たな販路開拓に向けた付加価値の高い商品づくりを行うための勉強会を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内 容：「WEB強化の必要性と商品開発戦略」 「各社ホームページ内容のグレードアップと構成」など ・ 参加者：延べ31名 					
<p>2. 商品開発指導会（4回）</p> <p>テーブルウェア・フェスティバルのシニアプロデューサーを講師に招へいし、ターゲットとする女性に好まれる色やデザイン、大きさなどのトレンドの取り入れ方や、各社の強みや個性を生かした商品開発の手法について学ぶ指導会を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加企業：延べ21社 					
<p>3. テーブルウェア・フェスティバルへの出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催期間：令和3年2月5日（金）～2月14日（日）（10日間） ・ 開催場所：WEB開催（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧） ・ 参加企業：6社 					
<p>4. フィードバックセミナーの実施（1回）</p> <p>テーブルウェア・フェスティバルのオンライン出展後に、今後の課題の共有を図る場を設け、魅力ある商品やトレンドを生かしたものづくりについて協議を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加企業：6社 					
<p>5. 流通マーケティングセミナー（2回）</p> <p>WEBやSNSの活用による宣伝方法の進行管理・制作を展開する広告代理店経営者等を招へいし、事業におけるオンライン展開の必要性、手法等についての学びの機会を設けるため、会津漆器協同組合員を対象にセミナーを開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内 容：「ホームページとSNSを使ったサービスの広め方」など ・ 参加者：延べ26名 					

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
企業誘致促進事業費 (企業立地課)	182,967			2,200	180,767
説 明					
<p>○ 市内に立地する企業に対する各種支援の実施により、企業の操業を支援し、本市工業の振興を図りました。</p> <p>1. 企業立地奨励金 一定の要件を満たして市内に工場等を設置した企業に対し、区分に応じて企業立地奨励金を交付することにより、企業立地を促進し、産業の振興と雇用機会の拡大を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 件 数 9件 ・ 交付金額 13,562千円 ・ 土地、建物に係る企業立地奨励金 <ul style="list-style-type: none"> ①会津コスモス電機株式会社 ②株式会社ピーアンドエム ③株式会社片桐工業 ④株式会社会津クォーツ ・ 償却資産に係る設備投資奨励金 <ul style="list-style-type: none"> ⑤大建工業株式会社 ・ 賃貸借に係る企業立地奨励金 <ul style="list-style-type: none"> ⑥株式会社エヌ・エス・シー ⑦株式会社デザインウム ⑧株式会社会津コンピュータサイエンス研究所 ⑨株式会社アイザック <p>2. 用地取得助成金 会津若松徳久工業団地の用地を取得した企業に対し、用地取得費の一部を助成することにより当該工業団地への企業立地を促進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 件 数 1件 ・ 交付金額 166,443千円 <ul style="list-style-type: none"> ①ヒメジ理化株式会社 (徳久工業団地 区画2及び区画4) 					

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
観光振興事業費（会津まつり協会負担金） （観光課）	56,988			3,593	53,395

説 明

○ 会津まつり協会に対して負担金を支出し、まつりやイベント等を通じた地域の振興を図りました。

1. 会津まつり事業

- ・ 期 間：令和2年9月19日(土)～9月22日(火)
- ・ 観客数：11,114人
- ・ 実施イベント：開幕セレモニー、先人感謝 市民のつどい、鶴ヶ城本丸ステージイベント
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小するなど例年とは異なる形態での開催となりましたが、会津まつりの基本理念である「先人への鎮魂と感謝」と「祝いと喜び」を念頭に、当該理念を市民の方々に再認識してもらう契機となるよう各行事を開催しました。市民のつどいは、市民を対象とした事前申込制とし、その中で実施された「先人感謝祭」や「会津まつり特別トークショー」では俳優の綾瀬はるかさんにも参加していただきました。

2. 鶴ヶ城さくらまつり事業

- ・ 実施イベント：鶴ヶ城公園ライトアップ（令和2年4月6日より開始し、翌日より中止）
あいつ着物でさんぽ（令和2年4月4日～4月8日まで実施し、翌日より中止）
鶴ヶ城植木市（令和2年4月4日～4月16日まで実施し、翌日より中止）
- ・ 春の鶴ヶ城公園ライトアップ期間にあわせ、相乗的に集客を図ることを目的としていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた多くの事業が中止または期間短縮となりました。

3. 会津絵ろうそくまつり事業

- ・ 期 間：令和3年2月12日(金)～2月13日(土)
- ・ 来場者数：約8,000人
- ・ 今回は「いまこそ灯せ 会津の炎」をテーマに、時間を短縮した中で、コロナ禍で落ち込んだ世の中に対し、会津から元気を発信することを目的に開催しました。鶴ヶ城公園では、会津大学短期大学の学生による丑年にちなんだ赤べこの地上絵のほか、幼稚園児から高校生まで幅広い年代の創作展示を実施しました。また、御薬園会場では、今年の干支の大型雪像や特製マスクを配布してのおもてなしを実施しました。

4. 体感！光の杜ミュージアム（アイヅテラス）

- ・ 期 間：令和3年2月19日(金)～3月7日(日)
- ・ 来場者数：約4,600人
- ・ 鶴ヶ城本丸において、折り鶴を踏むと花火がはじける「グランドマッピング」の他、撮影スポットとしてハート形LEDオブジェを設置するなど、冬季の観光誘客を図り、来場者は昨年比で117%となりました。

5. 歳の神事業

- ・ 期 日：令和3年1月14日(木)
- ・ 来場者数：約800人
- ・ 東山温泉観光協会との共催により、小正月の伝統行事の継承の場として実施しました。

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
観光振興事業費（会津若松観光ビューロー補助金） （観光課）	39,839	3,935			35,904

説 明

- 一般財団法人会津若松観光ビューローが実施する、観光振興及び物産振興に資する事業に対して、補助金を交付しました。

[主な活動内容]

1. 観光案内所管理運營業務

- 観光案内所の管理運営に努めるとともに、観光案内の機能充実を図るため、各種研修会に参加しました。

案内所	2年度案内件数	うち外国人観光客数	元年度案内件数	うち外国人観光客数
会津若松駅案内所（V案内所）	9,993人	278人	29,502人	3,731人
飯盛山観光案内所	7,273人	10人	13,079人	287人

- 各種研修会への参加

「東北の観光案内所ネットワーク化事業研修会」、「JNTO認定外国人観光案内所研修会」など

2. PR活動事業

- 会津若松市のポータルサイト「会津若松観光ナビ」の運営により、四季折々の鮮度の高い観光情報の更新に努めました。
- 「会津若松観光ナビ」にFacebook、Twitter、Instagram等のSNSを連動させ、リアルタイムな情報発信に努めました。
- 一般旅行用の「あいばせ」や、まち歩き用の「楽市」、市内の観光地を網羅した「市内観光マップ」など、その目的・用途に応じた観光パンフレットを作成・配布しました。

3. 会津若松市観光大使等事業

- 日本銀行の菅野浩之氏を新たに観光大使に任命しました。また、大使の方々の知名度等を活かし、その活動を通じての観光PRへとつなげました。（令和3年3月末現在 33名）
- 「会津キャンペーンクルー」の派遣により、本市のイメージアップと観光PRに努めました。

4. 物産推進事業

- 令和2年度は、各種キャラバンやイベント等への出展は全て中止となりましたが、関係団体と連携し、HP「会津若松観光ナビ」に特集ページを開設することにより、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ物産の販売促進とPRに努めました。
- 県の宿泊者特典クーポン事業を引き受け、地域の物産振興に努めました。

5. おもてなし事業

- 会津若松駅において、SL(DL)ばんえつ物語号、TRAIN SUITE 四季島等の歓迎おもてなしを実施しました。（実施回数26回）

6. 手ぶらでまちなか観光事業

- 東山温泉観光協会・芦ノ牧温泉観光協会との連携により、会津若松駅でお客様の手荷物を預かり、両温泉の宿泊施設までお届けするサービスを提供しました。（利用件数 385件）

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
観光物産復興特別事業費（会津若松観光ビューロー特別補助金） (観光課)	13,524				13,524

説 明

○ 会津若松観光ビューローが重点的に実施する原子力発電所事故による風評を払しょくするための各種事業に対し、補助金を交付しました。

1. 教育旅行推進事業

県外の小中学校や旅行会社などへのDM等の送付を通して、本市の魅力や安全性などについての情報発信を行い、教育旅行の回復に努めました。

なお、緊急経済対策として実施した「教育旅行用あいづ観光応援券」発行事業の効果もあり、県外来訪校数は東日本大震災以降最大となりました。

- ・ 携帯電話貸出しサービス 56校 522台
- ・ リモート講座 1回（七日町の活性化について）
- ・ パンフレット（教育旅行版『あいばせ』）を作成し、訪問学校等へ配布しました。
- ・ HP（教育旅行版『あいばせ』）のスマートフォン対応版を新設しました。

	令和2年度	令和元年度	対前年比	※参考 平成23年度
県外来訪校数	784校	663校	118.3%	100校

2. DMO推進事業

本市の観光地域づくりの舵取り役として、観光地域づくり法人（DMO）に求められる各種事業に取り組みました。

なお、令和3年3月31日付けで、正式にDMOとして登録されました。

[域内会議]

- ・ DMOに求められる多様な関係者との合意形成の場を組成するため、新たに地域の関係団体とで構成される「会津DMO会議」を設置しました。（9月18日）
- ・ DMOアドバイザーを招へいし、関係者とともにDMO推進にかかる事例研究を行いました。（9月25日、10月26日、11月11日）

[マーケティング調査]

- ・ 地域の観光資源にかかる「認知度」と「興味度」を把握し、そのギャップを明らかにすることで、プロモーション展開の方向性を明確化するための観光動向調査を実施しました。

[旅行業]

- ・ 県民割事業に取り組み、宿泊施設のあっせん等を行いました。

3. 旅行エージェント助成金事業

令和2年度は、緊急経済対策事業における旅行エージェント助成事業に一元化しての実施となりました。

4. コンベンション推進事業

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、コンベンション開催支援事業（助成制度）の応募はありませんでした。
- ・ なお、9月上旬に、令和3年度に向けた東北デスティネーションキャンペーンのエクスカーションを誘致しました。

5. インバウンド誘致事業

アフターコロナを見据えたインバウンドWEBセミナーや各種商談会へ参加しました。

- ・ 「JATAインバウンドWEBセミナー」、「台湾・タイ旅行AGT商談会」など

7 款 商工費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
温泉地域活性化事業費（温泉地域活性化推進事業補助金（通常分）） （観光課）	14,135	7,135			7,000

説明

○ 温泉地域の活性化と振興を図るため、温泉観光協会に対し補助金を交付していますが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により温泉旅館の売上が激減し、東山・芦ノ牧の両温泉観光協会において、会員の負担を軽減するために会費を通常の1/2以下に設定せざるを得ない状況となり、固定経費分の確保も難しくなったため、補助率を10/10へ変更し、補助金を交付しました。

区分	東山温泉観光協会	芦ノ牧温泉観光協会
誘客宣伝事業	<ul style="list-style-type: none"> 手ぶらでまちなか観光サービス事業 宿泊予定者の手荷物を会津若松駅構内で預かり、宿泊先まで配達することにより、市内観光を身軽に楽しんでいただくサービスを実施しました。 会津東山温泉里山農園事業 院内農事組合と共同で行っている里山農園への運営協力を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 手ぶらでまちなか観光サービス事業 宿泊予定者の手荷物を会津若松駅構内で預かり、宿泊先まで配達することにより、市内観光を身軽に楽しんでいただくサービスを実施しました。 広告宣伝 年間を通し、新聞や旅行・レジャー等の情報を取り扱うメディアに対し、宣伝広告を掲載し、誘客促進を図りました。 芦ノ牧温泉冬まつり 冬季の誘客促進を図るため、冬まつりを実施しました。
環境整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 東山温泉駅舎待合室の公衆トイレの清掃及び管理を行いました。 共同駐車場の除草、清掃、除雪、設備等の維持管理を行いました。 癒し処として、観光客に無料で開放している足湯を運営しました。 街路灯のLED化を図りました。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園の四季を通じた植栽、花壇の整備・維持管理を行いました。 温泉街の足湯（3ヶ所）及び散策路の整備・維持管理を行いました。 癒し処「あがっせ」及び公衆トイレの維持管理を行いました。
観光案内事業	<ul style="list-style-type: none"> 市民及び観光客に対して宿泊・観光の総合案内業務に努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民及び観光客に対して宿泊・観光の総合案内業務に努めました。
補助金額	7,770千円	6,365千円

8 款 土木費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
除雪対策事業費 (道路課)	1,016,111	116,335	18,000	50,592	831,184

説 明

○ 冬期間における安全な道路の通行確保を図るため、除排雪対策、雪害対策を実施しました。

1. 委託料

内 容	事業量	事業費
道路除雪等業務	車道 851.5km 242台 歩道 118.2km 41台	767,835千円
間口除雪業務	59町内 430世帯 延べ4,332回	1,430千円
消雪施設整備管理業務	点検整備操作 26.7km	25,740千円
防雪柵設置・撤去業務	固定式 4路線 1.95km 仮設式 9路線 3.92km	29,614千円
自家用電気工作物保安全管理業務	赤井地区消雪施設 1箇所	83千円
除雪車運行システム業務	GPS搭載機器 337台	16,159千円
合 計		840,861千円

2. 工事請負費

内 容	事業量	事業費
防雪柵設置工事	固定吹止式 H=3.5m L=48.0m	10,932千円
消雪施設補修工事	市道若3-359号線水源施設揚水機械補修	6,490千円
合 計		17,422千円

3. 備品購入費

内 容	事業量	事業費
除雪ドーザ	11t級 1台	14,795千円
小型ロータリ除雪車	1.0m級 1台	11,220千円
合 計		26,015千円

8 款 土木費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
舗装及び改良事業費 (まちづくり整備課)	187,726	97,653	80,900		9,173

説明

- 交通渋滞の解消、経済活動・観光産業の活性化促進、生活環境の改善を図るため、幹線市道の道路網整備等を行いました。また、高齢者や障がい者などの通行を安全なものとし、快適なくらしを創出するため、歩道の整備を行いました。

1. 工事請負費

工種	区分	路線数	事業量	事業費
舗装及び改良工	幹線市道	4路線	幹Ⅰ-6号線 L=278.5m	W=1.4~1.8m (歩道) 158,998千円
			幹Ⅱ-13号線 L=165.1m	
			一箕3-356号線 L=280.9m	
			門3-223号線 L=152.0m	
合計			L=876.5m	158,998千円

うち前年度からの繰越 70,777千円

2. 委託料

内容	事業量	事業費
設計業務委託	幹Ⅱ-5号線 L=128.5m	10,933千円
合計	1件	10,933千円

3. 公有財産購入費

内容	事業量	事業費
土地代	門3-223号線 1件 A=223.24m ²	9,689千円
合計	1件 A=223.24m ²	9,689千円

うち前年度からの繰越 9,689千円

4. 補償補填及び賠償金

内容	事業量	事業費
物件移転補償費等	幹Ⅰ-6号線 1件	6,664千円
	一箕3-356号線 1件	
	門3-223号線 5件	
合計	7件	6,664千円

うち前年度からの繰越 5,882千円

8 款 土木費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																		
溢水対策事業費（工事費） （都市計画課）	24,041		21,400		2,641																		
説 明																							
○ 市民生活の安全性を確保するため、溢水被害の軽減に必要な河川や水路の改修を行いました。																							
・ 工事請負費																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 35%;">内 容</th> <th style="width: 30%;">事業量</th> <th style="width: 35%;">事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>門3-11水路整備工事</td> <td>L=25.0m W=2.8m</td> <td>3,460千円</td> </tr> <tr> <td>門Ⅱ-6水路整備工事</td> <td>L=22.2m W=0.8m</td> <td>4,804千円</td> </tr> <tr> <td>準用河川宮沢川河道掘削工事</td> <td>L=240.0m W=3.5m</td> <td>13,897千円</td> </tr> <tr> <td>戸Ⅰ-2水路整備工事</td> <td>L=117.6m W=0.6~0.95m</td> <td>1,880千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td></td> <td>24,041千円</td> </tr> </tbody> </table>						内 容	事業量	事業費	門3-11水路整備工事	L=25.0m W=2.8m	3,460千円	門Ⅱ-6水路整備工事	L=22.2m W=0.8m	4,804千円	準用河川宮沢川河道掘削工事	L=240.0m W=3.5m	13,897千円	戸Ⅰ-2水路整備工事	L=117.6m W=0.6~0.95m	1,880千円	合 計		24,041千円
内 容	事業量	事業費																					
門3-11水路整備工事	L=25.0m W=2.8m	3,460千円																					
門Ⅱ-6水路整備工事	L=22.2m W=0.8m	4,804千円																					
準用河川宮沢川河道掘削工事	L=240.0m W=3.5m	13,897千円																					
戸Ⅰ-2水路整備工事	L=117.6m W=0.6~0.95m	1,880千円																					
合 計		24,041千円																					
景観形成事業費（美しい会津若松景観助成金） （都市計画課）	7,161	3,503			3,658																		
説 明																							
○ 会津若松市を魅力ある「まち」として形づくっていくために、景観的視点に立ったまちづくりが求められていることから、平成4年3月制定の会津若松市景観条例に基づき、美しい会津若松景観助成金を交付し、各種景観関連施策の推進・展開を図りました。																							
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">内 容</th> <th style="width: 20%;">件 数</th> <th style="width: 40%;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歴史的景観指定建造物への助成</td> <td>2件</td> <td>1,560千円</td> </tr> <tr> <td>自然景観指定緑地への助成</td> <td>10件</td> <td>155千円</td> </tr> <tr> <td>景観まちづくり協定地区への助成</td> <td>4件</td> <td>2,619千円</td> </tr> <tr> <td>景観重点地区への助成</td> <td>3件</td> <td>2,827千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td>19件</td> <td>7,161千円</td> </tr> </tbody> </table>						内 容	件 数	金 額	歴史的景観指定建造物への助成	2件	1,560千円	自然景観指定緑地への助成	10件	155千円	景観まちづくり協定地区への助成	4件	2,619千円	景観重点地区への助成	3件	2,827千円	合 計	19件	7,161千円
内 容	件 数	金 額																					
歴史的景観指定建造物への助成	2件	1,560千円																					
自然景観指定緑地への助成	10件	155千円																					
景観まちづくり協定地区への助成	4件	2,619千円																					
景観重点地区への助成	3件	2,827千円																					
合 計	19件	7,161千円																					

8 款 土木費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
宅地耐震化推進事業費 (開発管理課)	9,915	4,952			4,963
説 明					
○ 大規模盛土造成地30箇所の年代調査、造成時資料調査、現地踏査を行い、宅地カルテを作成するとともに、安定度を確認する優先度評価を策定し、1箇所のボーリング調査を実施しました。					
・委託料					
内 容		事業量	事業費		
大規模盛土造成地変動予測調査業務委託		大規模盛土造成地30箇所	9,906千円		
公営住宅大規模改善事業費 (建築住宅課)	47,099	19,860	27,200		39
説 明					
○ 長期的に使用可能な耐火構造住宅のうち、施設の更新時期にある住宅を対象に、外壁の改修や電気設備・給排水設備を改善し、安全性と住環境の向上を図りました。					
・工事請負費					
箇所	内容	事業概要			事業費
城西団地 第1棟 4階建て 15戸 (S51年建設)	建築工事	外壁等改善：モルタル劣化部補修・塗装1,114㎡ 屋上防水改善：断熱シート防水320㎡ 手摺改善：各戸バルコニー・窓 縦樋改善 等			24,164 千円
	電気設備工事	電源容量改善：各戸分電盤・引込開閉器盤1面 テレビ共聴設備改善：アンテナ1組・増幅器1台 電話設備改善：各戸モジュラジャック 保安器盤1面 等			7,535 千円
	給排水衛生 設備工事	給水設備改善：メーターユニット交換、 給水管更生 排水設備改善：各戸・共用排水管布設替え 便所内改修：各戸洋風便器交換、手摺設置 等			15,400 千円
合 計					47,099 千円

9 款 消防費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳																													
		国県支出金	地方債	その他	一般財源																										
消防施設整備費 (危機管理課)	65,659		55,000	962	9,697																										
説 明																															
○ 市民の生命、身体及び財産を火災から守り、安全で安心なまちづくりを推進するために、消防施設の整備を図りました。																															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 80%;">内 容</th> <th style="width: 20%;">金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第18分団強清水消防屯所修繕工事</td> <td style="text-align: right;">485千円</td> </tr> <tr> <td>第16分団宮袋消防屯所修繕工事</td> <td style="text-align: right;">477千円</td> </tr> <tr> <td>第18分団漆沢地区火の見櫓解体工事</td> <td style="text-align: right;">660千円</td> </tr> <tr> <td>第15分団下米塚地区ホース乾燥塔新設外工事</td> <td style="text-align: right;">1,570千円</td> </tr> <tr> <td>第19分団福島地区火の見櫓解体工事</td> <td style="text-align: right;">660千円</td> </tr> <tr> <td>第1分団基幹消防屯所外部改修工事</td> <td style="text-align: right;">3,494千円</td> </tr> <tr> <td>第15分団下米塚地区火の見櫓サイレン用配線撤去工事</td> <td style="text-align: right;">60千円</td> </tr> <tr> <td>第15分団消防ポンプ自動車購入</td> <td style="text-align: right;">21,890千円</td> </tr> <tr> <td>小型動力ポンプ購入</td> <td style="text-align: right;">3,927千円</td> </tr> <tr> <td>第7分団・第12分団小型動力ポンプ積載車購入</td> <td style="text-align: right;">8,844千円</td> </tr> <tr> <td>消火栓新設工事及び修理工事負担金</td> <td style="text-align: right;">23,217千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">65,284千円</td> </tr> </tbody> </table>						内 容	金 額	第18分団強清水消防屯所修繕工事	485千円	第16分団宮袋消防屯所修繕工事	477千円	第18分団漆沢地区火の見櫓解体工事	660千円	第15分団下米塚地区ホース乾燥塔新設外工事	1,570千円	第19分団福島地区火の見櫓解体工事	660千円	第1分団基幹消防屯所外部改修工事	3,494千円	第15分団下米塚地区火の見櫓サイレン用配線撤去工事	60千円	第15分団消防ポンプ自動車購入	21,890千円	小型動力ポンプ購入	3,927千円	第7分団・第12分団小型動力ポンプ積載車購入	8,844千円	消火栓新設工事及び修理工事負担金	23,217千円	合 計	65,284千円
内 容	金 額																														
第18分団強清水消防屯所修繕工事	485千円																														
第16分団宮袋消防屯所修繕工事	477千円																														
第18分団漆沢地区火の見櫓解体工事	660千円																														
第15分団下米塚地区ホース乾燥塔新設外工事	1,570千円																														
第19分団福島地区火の見櫓解体工事	660千円																														
第1分団基幹消防屯所外部改修工事	3,494千円																														
第15分団下米塚地区火の見櫓サイレン用配線撤去工事	60千円																														
第15分団消防ポンプ自動車購入	21,890千円																														
小型動力ポンプ購入	3,927千円																														
第7分団・第12分団小型動力ポンプ積載車購入	8,844千円																														
消火栓新設工事及び修理工事負担金	23,217千円																														
合 計	65,284千円																														
防災対策費（防災対策普及員経費） (危機管理課)	2,930				2,930																										
説 明																															
○ 会計年度任用職員として、防災対策普及員1名を配置し、出前講座等を通じて、市民の防災意識の啓発と防災知識の普及を図りました。																															
<ul style="list-style-type: none"> ・ 出前講座実績 件数：53件 参加者数：延べ1,005人 																															
防災対策費（情報発信一元化システム導入業務委託料） (危機管理課)	5,720		5,700		20																										
説 明																															
○ 災害発生時に、市が早急に情報伝達ができるよう、災害情報を発信する際の手順を一元化するシステムを導入しました。																															
<ul style="list-style-type: none"> ・ 委託先 : 東日本電信電話株式会社 ・ 委託期間：令和2年6月26日～9月30日 ・ システムにより、一元化された情報伝達手段 <ol style="list-style-type: none"> ①防災情報メール（あいべあ） ②緊急速報メール（エリアメール） ③エフエム会津 ④市公式Twitter ⑤Yahoo!防災速報アプリ 																															

10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
あいづっこ学力向上推進事業費 (学校教育課)	24,904			10,774	14,130
説 明					
<p>○ 本市児童生徒の学力のさらなる向上を図るため、平成29年度から令和8年度までの10年間で展望した新たな視点での「あいづっこ学力向上推進計画」に基づき、学習に主体的に取り組む意欲を養い、思考力、判断力、表現力を育み、自分の夢と希望をかなえることができる力を身に付けるため、環境整備及び学力向上事業を実施しました。</p> <p>[実施事業]</p> <p>1. 学級集団育成事業 児童生徒の確かな学力の向上を図る基盤づくりとして、Q-U（児童生徒個人、学級集団の状態、個人と集団の関係性を把握するためのアンケート）を実施し、その活用を図りました。</p> <p>※Q-U（Questionnaire-Utilities）</p> <p>2. 読解力向上事業 学校図書館の充実のため、学校図書館支援員6名を配置し、読書好きな児童生徒を増やすとともに、授業における積極的な図書館の活用を通して、学力向上のための重要な基礎づくりを行いました。あわせて新聞等の教材の活用により、自然環境・社会事象等への関心を高め、読解力・表現力の向上を図りました。</p> <p>3. 指導力向上事業 「新学習指導要領を踏まえた学習指導のあり方」をテーマとした研修会の開催を通して、教員の指導力向上を図りました。</p> <p>4. ICT活用学力定着事業 各校に配置した電子黒板を活用しながら、小学校3・4・5・6年の算数及び中学校全学年の数学と英語の指導者用デジタル教科書及びデジタル教材を整備し、児童生徒の理解を深めました。</p> <p>5. チャレンジ事業（学力向上支援事業補助金） 失敗を恐れず物事にチャレンジする精神や大きな感動体験が、主体的な学習を成立させる大きな原動力となることから、各種検定への受検を通し、子どもたちのチャレンジ精神を養い、成功体験を通して意欲（チャレンジ精神）を高めました。</p> <p>対 象：全児童生徒 受検者数：2,626人 対象検定：実用英語技能検定、日本漢字能力検定 補助内容：1回の受検につき 1,000円</p> <p>6. 会津若松市学力向上推進委員会 これまでの全小中学校の代表で組織する「学校教育指導委員会」に加え、本市の児童生徒の学力向上を目指す全市的な取組を加速させるため、学識経験者や保護者等で構成する「会津若松市学力向上推進委員会」を年3回開催し、学校・家庭・地域、教育委員会及び関係機関等が連携した実践的施策を含めた学力向上策について、検討・評価を行いました。</p>					

10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
学校施設耐震化事業費 (教育総務課)	44,289	16,180	24,300	3	3,806

説明

○ 学校施設の耐震化を図るため、耐震補強工事を行いました。耐震化工事とともに、窓ガラスへの飛散防止フィルムの施工等、非構造部材の耐震化も実施し、強度の地震にも耐えられる建物となりました。

[経費内訳]

1. 小学校における耐震化事業費

・耐震補強工事にかかる経費

学校名	内容	事業費
神指小学校	西棟耐震補強工事	34,097千円
	西棟耐震補強電気設備工事	6,369千円
	事務費等	88千円
合計		40,554千円

2. 中学校における耐震化事業費

・耐震補強工事にかかる経費

学校名	内容	事業費
第六中学校	校舎ガラス補強工事	3,735千円

10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
行仁小学校校舎等建設事業費（元～2年度継続） （教育総務課）	1,543,221	440,485	1,098,100		4,636

説明

○ 新市建設計画に基づき、建て替えを実施することで施設の老朽化解消を図るとともに、必要な耐震性を確保し、児童が安全で安心して学校生活をおくることができる環境を整えるため、「学校施設環境改善交付金」を活用し、行仁小学校を改築しました。

[事業費]

工事名	総事業費	R2支出額	R元支出額
校舎新築工事	1,401,441千円	838,401千円	563,040千円
校舎電気設備工事	120,428千円	72,258千円	48,170千円
校舎情報設備工事	46,365千円	27,825千円	18,540千円
校舎給排水衛生設備工事	101,742千円	61,052千円	40,690千円
校舎冷暖房設備工事	134,860千円	80,920千円	53,940千円
屋内運動場新築工事	645,489千円	386,759千円	258,730千円
屋内運動場電気設備工事	34,859千円	20,919千円	13,940千円
屋内運動場給排水衛生設備工事	46,200千円	27,720千円	18,480千円
融雪設備工事	42,664千円	25,604千円	17,060千円
事務費	3,598千円	1,763千円	1,835千円
合計	2,577,646千円	1,543,221千円	1,034,425千円



10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
子ども読書活動推進事業費 (生涯学習総合センター)	2,933			50	2,883
説 明					
<p>○ 子どもたちの思考力・判断力・表現力などの育成のため、学校・家庭・地域と連携・協力し、子どもの読書活動を推進しました。</p> <p>また、第二次会津若松市子ども読書活動推進計画が令和2年度で終了することから、引き続き、本市のすべての子どもの読書環境の整備と読書活動を推進するため、第三次会津若松市子ども読書活動推進計画を策定しました。</p> <p>[主な事業内容]</p> <ol style="list-style-type: none"> 第三次会津若松市子ども読書活動推進計画「あいづっこ読書活動推進計画」の策定 <ul style="list-style-type: none"> 副題「読書が育む大きな力 本はみんなの応援団」 本市のすべての子どもが読書の楽しさを知り、望ましい読書習慣を身につけられるよう、発達段階に応じた読書活動の推進及び読書環境の整備・充実を図る。 計画期間：令和3年度～令和7年度 本の読み聞かせの推進（対象：乳幼児～小学校低学年及びその保護者） <ul style="list-style-type: none"> 赤ちゃんおはなし会（月2回）のべ38組参加 「第7回 会津ビブリオバトル」の開催（対象：中学生・高校生） <ul style="list-style-type: none"> 令和2年11月1日（日）に會津稽古堂において開催 発表者として中学生3名、高校生1名参加。観戦者は29名 「第7回 会津図書館を使った調べる学習コンクール」の開催（対象：小学生） <ul style="list-style-type: none"> 令和2年11月14日（土）に會津稽古堂において表彰式を開催 応募は32作品（うち2作品が全国コンクールで入賞） 児童図書の充実 <ul style="list-style-type: none"> 購入冊数：1,178冊 					
日新館天文台跡整備事業費 (文化課)	10,065				10,065
説 明					
<p>○ 日本天文遺産に認定された市史跡「天文台跡」の保存・活用のため、日新館天文台跡の北側隣地を取得しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 所在地 会津若松市米代一丁目214番 面積 275.20㎡ 取得額 10,044,800円 					

10款 教育費

(単位：千円)

事業名 (担当課)	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
市民スポーツ施設管理費（工事費） （スポーツ推進課）	14,459		8,900	5,559	

説明

○ 市民スポーツ施設の安定した運営を確保するため、施設・設備の改修工事を実施しました。

・工事請負費

工事名	内容	事業費
河東総合体育館玄関前階段タイル改修工事	床磁器タイル部分張替	715千円
河東総合体育館機械設備改修工事	ボイラー改修 温水ポンプ取替 シャワー室漏水修理	7,095千円
河東総合体育館照明制御改修工事	屋内電灯設備改修	2,352千円
河東弓道場折戸改修工事	吊元ハンガーローラー交換 床ガイドローラー交換 縦枠2箇所交換	649千円
小松原多目的運動場受変電設備改修工事	受変電設備改修 屋外電気設備改修 防災設備改修	3,157千円
小松原多目的運動場ナイター照明改修工事	安定器等取替	491千円
合 計		14,459千円